

当社は、品質マネジメントシステム(QMS)および工業標準化法に基づき、全社一丸となって、ステークホルダーの皆様から信頼される製品を確実に提供するため、品質管理活動を推進しています。

### 品質管理

当社は、日本鉄鋼連盟の「鉄鋼業における品質保証体制強化に向けたガイドライン」および日本鋳業協会の「非鉄スラグ製品の製造・販売ガイドライン」に従った品質管理体制を構築しています。製品の品質規格を満たすとともに、お客様の要望に応え、かつ環境汚染のない安全で質の高い製品を常に提供できるように品質管理活動を行っています。

主な取り組み	具体的な活動実績
顧客満足度向上に向けた方策	<p>当社フェロニッケル製品は、安定品質、安定供給、きめ細やかな納期対応などさまざまな面においてお客様から高い評価をいただいています。</p> <p>日々のお客様とのコミュニケーションや定期的実施するCS調査を通じてお客様のニーズを認識し、当社の製品づくりやサービス向上に役立てています。</p> <p>また、お客様の声を拾うだけでなく、より良いサービス・製品をお届けできる様、提案型営業を心がけています。</p> <p>フェロニッケルスラグ製品は、青森県・岩手県への供給が主となり、環境省の土壌汚染対策法に基づく告示における溶出量(18号)・含有量(19号)の全基準値を上回る事がない安全性の高さを基に、お客様の要求に応じた粒度・成分(品質)に応えるよう日々努力しており、使用し易い等の評価を頂いています。</p> <p>また、管理体制は「非鉄スラグ製品の製造・販売管理ガイドライン」(日本鋳業協会)に則し適正な管理を行っており、地域の皆さまへ環境影響が生じないよう、定期的に運搬する道路の清掃を行うよう努めています。</p>
製品品質の信頼性向上のための分析技術のブラッシュアップ	<p>製品品質の信頼性に寄与する分析・試験において、ベテラン社員からの技術伝承が課題となっていました。ベテラン社員の感覚的な技術やノウハウなどの暗黙知を聞き出し、スキル表として図や写真などを交え文書化する活動を行っています。スキル表をもとにOJTを行うことで、技術伝承を推進しています。また、個々の分析要員の業務範囲の拡大・力量向上に取り組んでおり、分析技術のベースアップを進めています。</p>
試験所・校正機関の認定規格 ISO/IEC 17025の試験所認定	<p>フェロニッケル製品やニッケル鉱石は、そのニッケル含有量によって価格が変動するため、ニッケル分析値の信頼性確保が重要となります。当社では「フェロニッケル中の成分の化学分析方法」、「フェロニッケル中の成分の蛍光X線分析方法」、「ニッケル鉱石中のニッケルの化学分析方法」について、ISO/IEC 17025の認定を受けており、製品検査・原料受入検査結果の国際的・客観的な信頼性の確保に注力しています。</p> <p>2019年度の移行審査において、ISO/IEC 17025(2017年版)へ移行しており、2020年度は更新審査を予定しています。</p>

株主・投資家の皆様に適正でわかりやすい情報開示に努めています。ホームページを活用した各種IR情報の公表を中心に、説明会の開催を行っています。

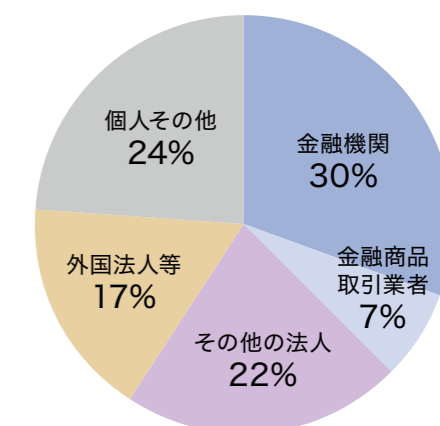
### IR活動

当社は、IR担当取締役を中心にIR委員会を設置し、全ての株主・投資家の皆様と建設的な対話を促進するための体制を整備しています。

定時株主総会を毎年6月に開催するとともに、第2四半期決算および期末決算の際にも決算説明会を実施し、当社事業の業績や計画、戦略などを説明しています。

また、企業体質の充実・強化を図りつつ、利益配当金によって株主の皆様への利益還元にも努めています。

■当社の株主構成



### 株主・投資家の皆様との対話

IRに関するアナリスト・機関投資家向けの説明会を年2回定期的に行っています。

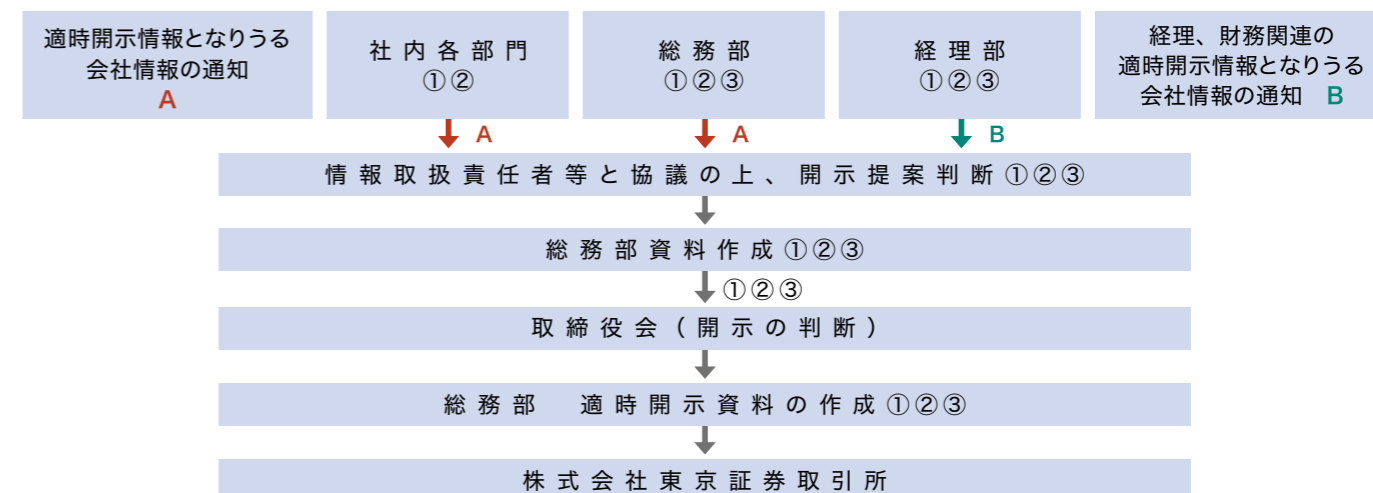
株主の皆様からのご意見は、取締役会議長を中心に取締役会全体に確実に共有されるよう努めています。また、株主の皆様との対話を行う際は、インサイダー情報の管理を適切に行うとともに、株主間での情報格差を生じさせないよう十分留意しています。

### 情報開示

「コーポレートガバナンスに関する基本方針」に定める情報開示方針に基づき、各種情報について当社ホームページを中心に適時適切に開示しています。

当社は、決定事実に関する情報、投資家の皆様の投資判断に影響を及ぼすような発生事実、決算に関する情報に関し、開示体制を構築しています。重要な事実が発生した場合は社内関係部署で開示の要否を検討し、取締役会での開示判断を行い、開示する場合は、東京証券取引所に開示する体制をとっています。

#### ■情報開示の体制



株主総会に関しては、株主の皆様が議案の内容を十分に精査し、権利を適切に行使することができるよう、株主総会招集通知の早期発送を行っています。さらに、当該招集通知の発送日前に証券取引所や当社ホームページでの開示を行っています。

IRに関する資料についてはこちら <https://www.pacific-metals.co.jp/ir/index.html>





地域社会とのつながりを大切に、清掃活動を実施するとともに、地域の諸団体への協賛や地域イベントへの参加など地域活性化に努めています。地域に密着した取り組みを通じて、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図っています。

## 工場見学会の開催

八戸市青少年海外派遣交流事業で、八戸市を訪問していたニューカレドニアのラベルズ高校の生徒13名が、2019年7月に八戸製造所を見学しました。今回の工場見学会では、ロータリーキルン・電気炉・フェロニッケルスラグなどを実際に見ていただき、鉄鋼業やものづくりについて理解を深めていただきました。今後も、皆様に当社を知っていただく機会を作っていきます。



見学の様子

## 工場周辺や地域の清掃活動

当社は、地域環境美化および社会貢献を目的に工場周辺臨港道路沿いの清掃活動を始めて11年目となります。2019年11月に実施した清掃活動には、当社社員と関係会社および協力会社合わせて34名が4つのブロックに分かれて参加しました。回収したごみの量は、可燃6袋(12kg)、不燃7袋(21kg)となりました。本清掃活動は、八戸市が環境美化活動を支援する「はちのへクリーンパートナー制度」に登録して行っています。



地域の清掃活動

## 不法投棄パトロール

三八管内(八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村)の業者が集まり「不法投棄防止のための監視パトロール」を実施しました。



不法投棄パトロール

## 人命救助

八戸消防署より敷地内で発生した救急事案での功績に対し、リサイクル事業部社員へ感謝状の贈呈がありました。八戸消防署担当からは、連携の取れた組織的な救命活動はまれな事例であり、日頃の訓練の積み重ねによる成果であり、会社全体でこの様な訓練を積極的に取り組む姿勢がうかがえると、感想をいただきました。



感謝状の贈呈

## 地元サッカークラブチームへの協賛

当社は、以前フェロニッケルスラグを埋設していた最終処分場の跡地を整備し、人工芝のサッカー場「PAMCOフィールド」として、2019年7月から地元のサッカークラブ「ヴァンラーレ八戸」に借用を開始しました。「ヴァンラーレ八戸」の活躍や地域のスポーツ振興に貢献できればと考えています。



PAMCOフィールド

## 消毒液の寄贈

新型コロナウイルス感染症の感染防止に役立ててもらうため、2020年7月に八戸市にアルコール消毒液を150ケース(1,155L)寄贈し、八戸市から感謝状をいただきました。



消毒液の寄贈



当社は、「ご安全に!」を合言葉に自主的な労働災害防止活動を展開し、安全意識向上により労働災害の防止に努めています。また、従業員が安全で健康に過ごせる職場環境を維持できるよう健康管理活動を推進しています。

## 労働安全活動

2018年から、発生すると重篤度の高い「挟まれ・巻入れ災害」、「高温物との接触・感電災害」、「爆発・火災」の項目に分け、4ヶ月毎に災害防止強化月間として取り組んでいます。

各強化月間では、過去に発生した災害を基にした危険体感教育や、安全装置の再点検を行っています。過去に発生した災害を模擬体験することで、災害発生時の背景や、もし、自分だったらどうするのかなど熟考する教育が実施できています。また、班長がリーダーとなつての小集団活動も併せて実施し、自分たちの職場の新たなリスクの抽出や不安全設備の改善などに取り組んでいます。今後も、安全活動を継続し、事故・災害の防止に努めていきます。



挟まれ災害危険体感教育

## 衛生活動

社員の健康増進を目的として、2019年度は7月に健診機関から講師を招き、健診結果をもとに栄養指導教室を開催しました。また、全社員がウォーキングやランニング、休肝日の設定など個人の目標を掲げ、健康な体作りを目指しました。10月には、青森産業保健総合支援センターから講師を招き、「あなたが充実した毎日を送るために」と題し、メンタルヘルス講習会を開催しました。引き続き社員が心身健康で働くための取り組みを行っていきます。



栄養指導教室

## 防災活動

総合防災訓練では、大規模地震を想定しての避難・連絡・通報、救出・救護訓練を実施しています。また、火災を想定した自衛消防隊による消火訓練では、消防水利(消防用水の供給設備)が利用できない場合を想定し、構内を巡回している散水車から給水・消火する訓練を実施しました。

津波避難訓練では、新型コロナウイルス感染症への防止対策を考慮し、机上訓練へと変更しました。構内の放送設備から流れる設問に対し、社員一人ひとりが自分の行動を記入するという新たな試みの訓練でした。今まで実施してきた訓練の成果もあり、自分がすべきことへの対応が着実に進んでいました。従業員の安全を守るため、今後も感染防止対策を含めた訓練を実施していきます。



消火訓練

## 改善提案活動

当社では、社員の考える習慣づくり、品質・環境・安全意識の向上やコスト改善を目的として、改善提案活動に取り組んでいます。2019年度は1,257件の提案があり、特に良い事例については改善事例集や社内セミナーにより水平展開を行いました。年2回開催される改善提案社長賞審査委員会には合計28件がノミネートし、改善提案社長賞24件・IMS管理責任者賞4件と過去最高の結果となりました。各現場の担当者が現状を認識し、問題解決に取り組んだ成果が、エネルギー使用量や作業工数の削減、労働災害の発生リスク低減などにつながりました。この改善提案活動が当社の収益改善や無災害記録の達成にも大きく貢献しています。



改善提案社長賞受賞者による事例発表